

2018年度 第2回 介護医療連携推進会議

●日 時 2019年2月14日(木) 10:00~

●場 所 甲州ケア・ホーム 会議室

●参加者 13名

地域住民代表:民生委員、区長

笛吹市:長寿介護課 役職員、地域包括支援センター

施設側役職員:部長、課長、事業責任者、事務部門長、事務長、地域医療医師、事務局

1.法人事務部長挨拶

本日は、施設長が出張のためやむなく欠席となつたが、皆様には年度末の忙しい時期にお集まりいただきありがとうございます。本日は、事業所の状況を報告させていただきますので、皆様の一層の理解を深めていただくことと、運営に対して忌憚のないご意見をいただければ幸いです。よろしくお願ひ致します。

2.事業概況について

事業責任者から、資料に基づき 現在の利用状況が説明された。

3.質問や意見など

Q1. 1月の訪問件数が減少した理由は?

A1. 資料にあるとおり、サービス付き高齢者住宅への入居や入院などで利用者が5名減ったことが要因である。

Q2. インフルエンザ流行の影響はなかったか?

A2. インフルエンザで在宅が無理になったケースもある。

Q3. 看取りの事例について、エアコンの活用はあったのか?

A3. 娘さんがエアコンの管理をしていた。口の渴きがあったので、加湿器により湿度管理も行った。

Q4. 提供エリアは全市を対象とすることでよいか?

A4. 市内全体を対象とするが、相談させていただく場合もある。

事業所 訪問回数が頻回となる場合は、定期を利用してよう地域ケア会議で指導されるようだが、そうした場で、このサービスを促すことはできないか?

笛吹市 地域ケア会議で頻回の訪問があったのは、1例のみ。それ以外にも多用なサービスが必要とされるケースもあるので、今後出席してもらう場合もあるかもしれない。

現状の課題の中で、サービスの普及について、笛吹市との連携があるが、市でも連携を進めたいと考えている。

笛吹市 ③に、システムの導入はあるが、どのようなサービスを検討しているのか?

事業所 定期巡回に特化したシステムで外部から利用者情報の参照や記録が可能となるものなど

笛吹市 市では、カナミックのクラウドを使用しており、推奨しているので参考にしてほしい

4.在宅支援部長 まとめの言葉

本日はお忙しいところご出席いただきありがとうございました。地域密着型サービスは事業所と市と地域住民の皆様の協力があってこそ成り立つ事業であると感じています。今後も一層の御協力を切にお願いします。